

「サツマイモ掘り」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

今日は都下郊外園にサツマイモ掘りに出かけた。毎年秋に、3・4年生が縦割りですしている活動である。天気も良く、しかし雲もあって暑すぎず、絶好の収穫日よりとなった。



到着した子どもたちは、まず蔓集めの作業から始めた。ほとんどの蔓は、郊外園を管理している方が集めておいてくださったので、それほど大変ではなかった。やはり広い農場、結構時間がかかった。この芋蔓は、何も役に立たないと思っていたのだが、収穫後の自由時間で、大いに役立つことがわかった。



その後マルチをはがして集め、いよいよ縦割り班ごとにサツマイモ掘りが始まった。一つの縦割り班に、一つの畝を収穫する。春に自分たちが植えた畝を担当するのだが、育つ過程は見えていないので、「自分たちが育てた」という実感があまり持てないのが、少し残念である。



大きなサツマイモは、3年生と4年生が力を合わせて掘り出していた。



今年は、とにかく大きな(というより巨大な)サツマイモが多かった。お店では見かけないスバラシさ。



「もういくら掘ってもありませんよ」と言っても、畑は掘って掘って掘り起こされていた。写真が一つの班の収穫分。子どもたちは持参した袋に、持ちきれないほどのお芋を入れて、満足顔だった。